

新たな公共交通サービスの導入について

公共交通ネットワークの充実に向けた取組として進めている新たな公共交通サービスの導入に関して、令和6年3月31日で終了することとしていた実証運行について、令和5年度の利用実績や分析結果等を踏まえ、令和6年4月1日以降も運行を継続することとしたので、以下のとおり報告する。

1 経緯

令和5年	9月19日	令和5年度実証運行開始
	11月	令和5年度実証運行の中間評価
令和6年	2月	中野区交通政策推進協議会において関係者協議 実証運行の継続を決定
		令和6年度実証運行に関する届出(関東運輸局)
	3月上旬	チラシの各戸配布、掲示板へのポスター掲示、 区ホームページ等による周知

2 利用実績、収支状況、今後の取組等 別紙のとおり

3 今後の予定

令和6年	3月20日	区報による周知
	7月頃	令和5年度実証運行の評価
	11月頃	令和6年度実証運行の中間評価
令和7年	3月31日	令和6年度実証運行終了
令和7年度		令和6年度実証運行の評価

1 運行計画等

①運行計画

運行期間 令和5年9月19日～令和6年3月31日
 始 発 8:45(01白鷺せせらぎ公園発)
 終 発 17:55(01白鷺せせらぎ公園発)
 本 数 全日11便(K05系統:5便 K06系統:6便)
 車 両 ワゴンタイプ、乗客定員10人
 運 賃 大人200円、小児100円
 高齢者割引証(70歳以上)の提示で100円引き

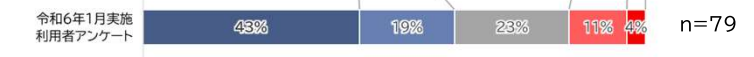
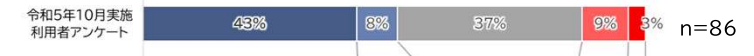
②下鷲橋関連工事

令和5年10月10日、27日、10月30日～11月12日
 下水道工事関連の試掘調査・測量に伴う通行止め
 令和5年12月12日～19日
 下水道管きょ工事に伴う通行止め



3 利用者アンケート及び年齢調査

■運賃



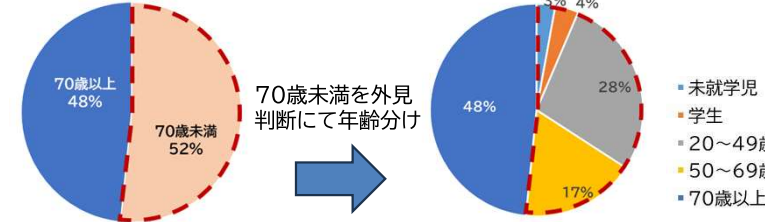
■運行ルート



■停留所位置



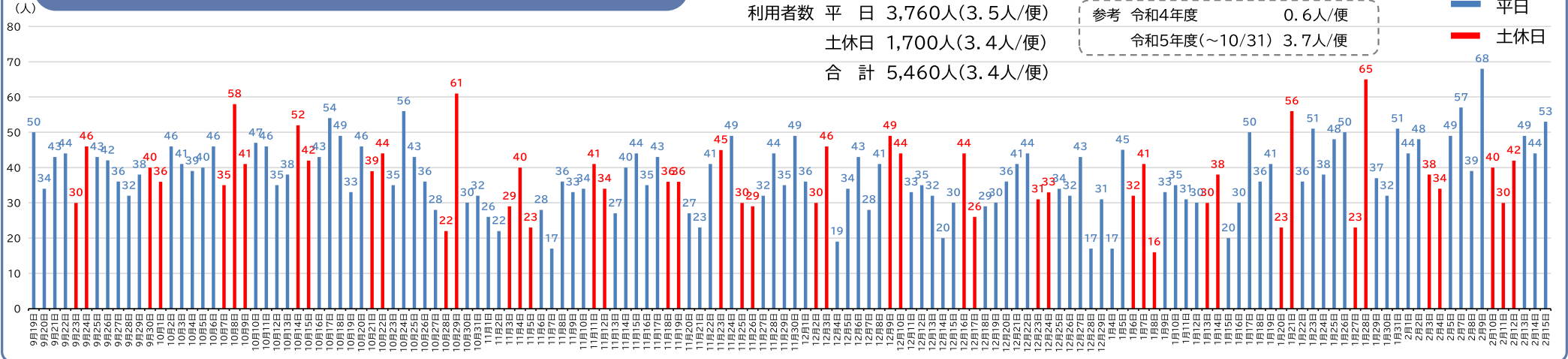
令和6年1月実施 利用者属性調査 n=281



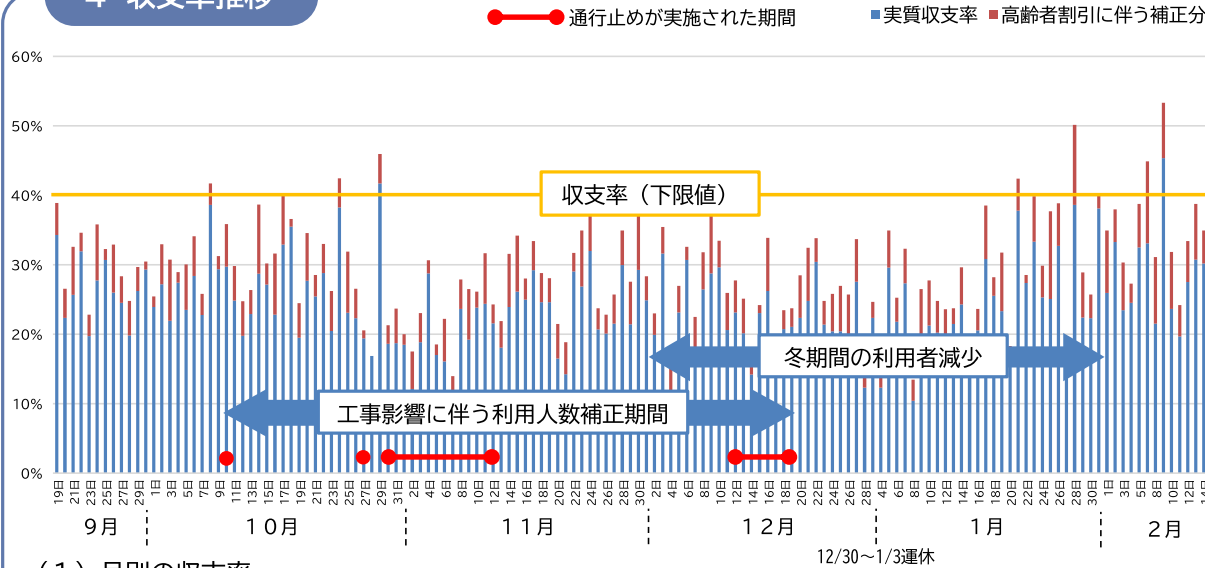
2 利用実績(令和5年9月19日～令和6年2月15日料金收受データ)

利用者数 平日 3,760人(3.5人/便)
 土休日 1,700人(3.4人/便)
 合計 5,460人(3.4人/便)

参考 令和4年度 0.6人/便
 令和5年度(~10/31) 3.7人/便



4 収支率推移



(1) 月別の収支率

月	実質収支率	①高齢者割引に伴う補正	②工事影響に伴う補正	仮想収支率
9月	27%	31%	-	31%
10月	26%	31%	35%	35%
11月	22%	27%	32%	32%
12月	23%	27%	32%	32%
1月	24%	29%	-	29%

- ① 高齢者割引に伴う補正
高齢者割引証の利用による乗車は、区が高齢者の利用促進として実施している施策のため、普通運賃200円の収入として取り扱い、算出をしている
- ② 工事影響に伴う補正
通常運行時の平均利用者：約37.9人/日
工事期間中の平均利用者：約31.0人/日
ルート変更により約7人/日減少しているため、影響期間分人数を補正して算出している（影響期間71日×7人=497人）

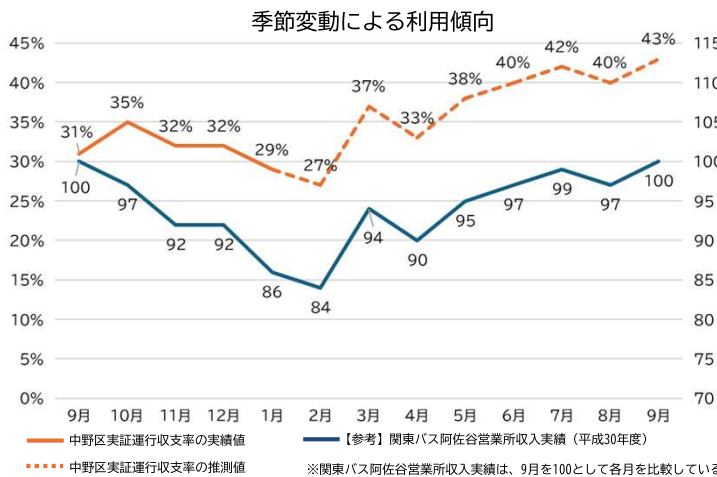
(2) 季節変動による今後の収支予測

中野区実証運行の利用傾向

- 9月を基準とした収支率実績
 - 9月から10月 4%
 - 9月から11月 1%
 - 9月から12月 1%
 - 9月から1月 Δ2%
- 通常の路線バス利用傾向と比較すると、秋冬での利用の減少が抑えられている
⇒利用者の増加と捉えられる

【参考】関東バス阿佐谷営業所収入実績

- 9月を100とした収入実績
 - 9月から10月 Δ3
 - 9月から11月 Δ8
 - 9月から12月 Δ8
 - 9月から1月 Δ14
- 9月から減少し、2月の利用が最も少ない（月の日数、特別ダイヤ等考慮せず）

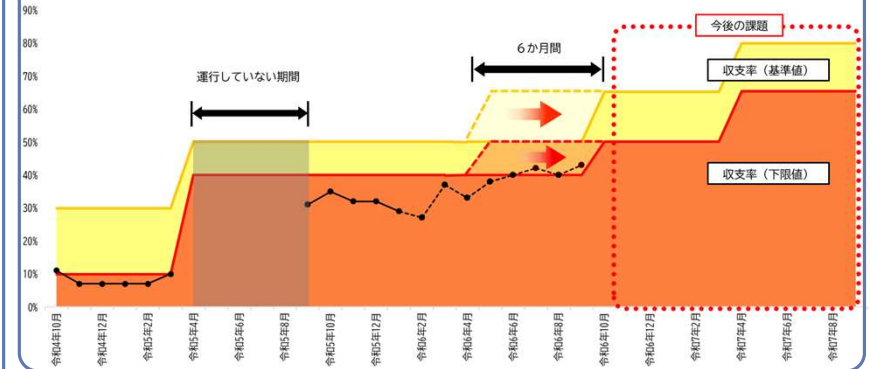


2月以降の中野区実証運行収支率は、関東バス阿佐谷営業所収入実績の変動傾向を参考に推測している

5 実証運行のまとめと基準の見直し

○工事及び季節変動による影響を検証した結果、年度内に収支率30%後半に到達し、令和6年6～7月頃には収支率40%に到達する見込みのため、適宜検証をしながら令和7年3月まで実証運行を継続する。

○また、令和5年度の運行は9月から実施したため、運行していない期間を踏まえた検証期間を改めて設定する(令和5年度目標値の期間を6か月延長)。但し、令和6年度下半期以降は、目標となる基準値を短い期間で達成させる必要が生じるため、検証期間及び基準値について令和6年度に見直しを行う。



6 収支率向上に向けた取組と継続にあたっての課題

【短期的な取組】

- 更なる利用に向けた啓発 ⇒ チラシの各戸配布、町会・自治会掲示板への掲示等
- 停留所の利便性向上 ⇒ 07高円寺通り停留所を乗車可能にし、利用範囲拡大
- 割引による利用者拡大 ⇒ 年代別に利用状況を検証し、潜在的に需要が見込まれる年代について割引

令和5年度の高齢者割引の適用を令和6年度実証運行まで延長。そのうえで令和6年4月から9月の期間に、満65歳から満69歳も対象とした割引を実施

利用者を増加させる短期的な取組を実施し、着実な収支率の向上を目指していく。

【中期的な取組】

- データやアンケート結果を検証し、無駄のない効率的ダイヤを検討
- 事例や知見を踏まえ、地域の实情にあった収支率について検討
- 運賃以外に見込める収入源の実例を収集
- 割引による利用者の拡大

【継続にあたっての課題】

- 下鷺橋の架け替え工事に伴う運行ルートの見直し
- 大和町中央通り沿道整備の本格化による、状況に応じた停留所の見直し